

川崎市議会議員

# 松川 正二郎

まつかわ しょうじろう

令和4年度3月議会報告

子ども 老後 防災 防犯 交通

そのつばやきを政策に。

## あんしんNo.1 の中原区へ

松川正二郎プロフィール

昭和43年生まれ、中学1年生の父 共働き世帯  
城西大学経済学部卒 カリフォルニア大学リバーサイド校留学  
元復興大臣 衆議院議員 田中和徳 元公設秘書  
家族：妻、長女（中学1年生）

丸子多摩川観光協会 丸子の渡し花火実行委員長  
NPO 法人防災・防犯ネットワーク中原支部長  
中原区町内会連絡協議会理事  
新丸子町内会会長 中原消防団丸子分団班長  
丸子地区社会福祉協議会副会長 丸子地区商店街連合会顧問  
中原中学校区地域教育会議顧問

### TOPIC 1 市の学習状況調査の拡充

これまでも小学5年生及び中学2年生を対象に行われてきました市の学習状況調査ですが、来年度予算の中では**小学4年生～中学3年生までの調査拡充**に向けたモデル実施ということが挙げられています。今回の議会では、まずこの点について、現状における問題状況と拡充の目的についての質問を行いました。行政サイドで把握している課題としては、①子ども一人ひとりの調査結果が経年で蓄積されないこと、②同一集団の比較ができないこと、の2点があるようです。

令和3年度にスタートしたGIGAスクール構想（いわゆる教育分野における大規模なデジタル活用構想）に伴い、子ども一人ひとりの学習進度や理解度に応じた指導ということが可能となりました。これを受け、それぞれの課題に対応する形で、①**毎年の調査によって一人ひとりの学習への適切なフィードバックを行うこと**、②**同一集団の学習履歴を経年で把握**することが可能になる、という展望があるようです。

その他、**資産形成等の消費者教育**や、「スタディ・ログ」と銘打たれた**学習履歴の利活用**についての検討なども、最新の教育関連トピックとしては興味深いところかと思われれます。後者に関しましては、データの内容によってはセンシティブな情報も含まれることになるため、データ利活用のガイドラインや倫理原則の整備、情報セキュリティの確保といったところが問題となり得るところです。この点、行政の動きを見守りながら、議会質問等を通じて適切に対応していきたく思います。

### TOPIC 2 DXによってもたらされるデジタル・ディバイド

昨今、官民間問わずに声高にいわれている「DX」ですが、本市の来年度予算の中でも同施策にまつわる項目につき、少なくない額が計上されています。このようにデジタル化が急速にすすめられて行く一方で、「**デジタル・ディバイド**」ということがいわれるようになりました。来年度に向けた市長の施政方針の中でも言及されているところですが、今議会ではこの問題に対応する国の補助事業の利活用の状況や、今後の見通しについて主に取り扱いました。実際のところ、国の補助事業に参加した宮崎県都城市では、**マイナンバーカードの普及率の全国平均が26.3%であるところ、令和3年3月時点で53.2%という交付**

率を達成しています。本市でも、これまでの区役所でのスマホ教室等に加え、高齢者の方々が集まる「**いこいの家**」でのスマホ講座の実施等が検討されてはいるようですが、それらの**広報が市のホームページ上でのもの一辺倒**である等、まだまだ課題は多く残されているように思われます。そもそもホームページ等を自在に調べることが難しい方々に向けて、それほどに誰もが注視するものでもない市のホームページというデジタル・メディアを通じて広報を行うことに、どれほどの意味があるのでしょうか。

こうした問題点は、「地域包括ケアシステム」の広報等においても見受けられます。住

み慣れた地域での自分らしい生活をサポートするために医療・介護・予防・住まい・生活に渡る支援を一体的に提供するというテーマで推進されている体制ですが、本市ではその情報発信の一つの柱としてポータルサイトが位置づけられています。同システムの主な対象の一部としては、高齢者の方々がイメージされますが、その場合、ポータルサイトの発信力はどの程度のものになるでしょうか。同サイト上では会員登録が呼び掛けられているものの、**現状では登録数は780名に留まっている**とのこと。

今後もこれらの点については、行政の更なる創意工夫等を積極的に働きかけて参ります。

## TOPIC 3 安全・安心なまちづくりの推進

中原区の「安全マップ」事業をご存知でしょうか。令和2年度から始まった取組ですが、令和4年度もこれを継続すべく予算が計上されています。本事業は、町内会や自治会、行政等を中心とした防犯活動に留まらず、子どもたち自身にも犯罪に遭わないための知識を身につけてもらうということを目的としています。具体的には、フィールドワークや地図の作成を通じて、

子どもたち自身の目線で犯罪が起こりやすい（「入りやすく見えにくい」）危険な場所を見つけてもらうということを行っています。中原区では登戸での痛ましい事件を受け、区独自で出来ることを検討し、区がリーダーシップをとる形で取り組みを進めています。

今議会では参加児童からの声や反響といった点についても質問しましたが、「普

段歩いたり遊んだりしている場所が意外に危ない場所だとわかった」、「活動内容が面白くて時間が短く感じた」等、楽しみながら「安全マップ」づくりができたという声が多く届いているようです。

今後も区内全域への拡大を目指して取り組みが進められていくとのことですので、機を見まして改めての報告などをさせて頂きたいと思っております。

## TOPIC 4 中原区内の最新道路動向

丸子橋交差点の渋滞解消につきまして は従前より議会質問等でも取り扱って参りましたが、平成30年度に策定された緊急渋滞対策の取り組みが令和4年度内に完了するとの見通しが示されました。中原街道上り東京方面については右折レーンの新設、下り神奈川方面については丸子橋出口の右折信号の調整を施すことにより、結果、少しでも渋滞が緩和されること

を期待しております。

また、東日本台風の影響で工期の遅れが心配されておりました、**仮称）等々力大橋整備事業**につきまして、令和7年を目安とした完成時期に大きな変更はないようです。目黒通りへのアクセスが確保されることで、これまた他の多摩川渡河ルートの渋滞に良い影響が及ぼされることが期待されます。

最後に、長らく区民の皆さんに不自由をおかけしておりました綱島街道の上丸子跨線橋の改修についてです。同事業は平成19年度に着工されたものですが、令和3年度にてようやく4車線化が実現される運びとなりました。以降も電線共同溝の移設工事による歩道規制等は継続されますが、ひとまず渋滞緩和に対する効果は大きく期待されるところで

## アンケートにご協力ください

下記にご記入いただき、**FAX: 044-330-1619**（松川正二郎政務活動事務所）にお送りいただくか、QRコードを携帯電話でかざしていただきますと簡単なフォームで送信いただけます。

Q1

令和3年度、松川正二郎が現職の市議会議員として是非ともとりいれるべき施策等ございましたら、ご自由にお書きください。

Q2

新型コロナウイルス、令和元年東日本台風に対するご意見等ございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

こちらのQRコードから簡単にアンケート送信ができます



ご連絡先

松川正二郎政務活動事務所  
〒211-0005  
川崎市中原区新丸子町694-101  
TEL: 044-328-9619  
FAX: 044-330-1619  
川崎市議会議員控室  
〒210-8790  
川崎市川崎区宮本町1  
川崎市役所 第2庁舎7階  
matsukawashojiro@gmail.com